

あなたのまちの
校(地)区社協

ふれあい 支えあう すこやかなまち 住みよい高須

こちらからも
校区の情報をチェック!!



若松区 高須地区社会福祉協議会

【校(地)区社協の概要】

高須地区社協

検索

設立：昭和61年

人口：8,181人

世帯数：4,213世帯

高齢化率：37.48%

活動拠点：高須市民センター

会長：香月 英彦

福祉協力員：50人

たかすちょこつと応援タイ：37人

民生委員・児童委員：9人

高須地区は、1970年代に北九州市の西のニュータウンとして誕生し、新日鉄や石炭産業を背景に発展した歴史をもつ。近年は、遠賀川と洞海湾をつなぐ江川や緑の丘陵地の住宅街、鹿児島本線への交通にも恵まれた立地を生かし、行政・諸施設をはじめ、隣接する学研都市の北九州市立大学や九工大とも連携して「成熟都市」としての充実を目指している。

南は、日頃の会員の状況や地域の保育園などとの交流会も開催する「笑顔・いきいき・夢サロン」、気軽なおしゃべりをする「ゆんたくサロン（カフェ）」、介護予防体操を中心にした「元気クラブ」。北では、健康づくりと季節にちなむ行事を中心に「ほのぼのサロン」。こうしたサロン活動の他、年に一度高須小学校で「たかす年長者のおまつり」を毎年開催しており、2025年で24回目を迎えた。今年は250名超が参加し、大盛況で終えた。



■ たかすを「認知症にやさしいまち」に

「第10回認知症を理解する集い」を開催

2014年に「認知症行方不明者捜索模擬訓練」を始めてから10年。認知症についての考えも変化し、フレイル対策を中心に位置づけている。(認知症患者自身の沼田夫妻を招いて講演会を開催するなど、認知症や病気の方も、それぞれの立場で活躍する時代へ変化。)

■ 住み続けたいまちへ

生活支援相談員とたかすちょこつと応援タイ

「誰もが自分らしく住み続けられるまち」として、市内初の「生活支援相談室」を高須市民センターに設置。お困りごとの相談に応じ、福祉協力員や民生委員・児童委員と共働して「地域包括支援センター」や「認知症介護予防センター」などへつないでいる。

また、生活支援ボランティア活動として「たかすちょこつと応援タイ」が随時稼働。相談員主宰の「第17回 たかすふれあいカフェ（介護の集い）」を11月25日実施。



■ 人生100年時代の繋がりづくり

「第3次たかすの元気プラン」

高須地区社会福祉協議会は、来春2026年に40周年を迎える。2014年に立ち上げた高須地区の「元気プラン(小地域福祉活動計画)」を中心に活動。5年毎に見直しを行い、現在第3次計画に入り12年目を推進している。2025年は、団塊の世代が75歳以上となる超高齢化時代の正念場と位置づけ、チャレンジ・対応している。

■ 「高須で自分らしく

幸せに暮らせる地域づくり」を目指して

ーサロン(5サロン3カフェ)の定期開催と

「第24回年長者のおまつり」ー

高須地域は、東西南北でそれぞれの特性があり、地域ごとにサロンを開設している。東は、地域のコミュニケーションの場「お話サロン」と個人宅にお招きし季節の話題を中心にした「ホームサロン(カフェ)」。西は、近隣の方の情報交換を中心に「いきいきふれあいサロン」と孤立しがちな男性を中心に「ふらーっと(カフェ)」。